

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	
施設名	インターナショナルアンジェリカ下目黒6丁目保育園
施設所在地	東京都目黒区下目黒6-15-18
法人名	株式会社WITH

1. 活動のテーマ

<テーマ>

・巧技台を「どのように置けば安全か」「もっと楽しくなるか」を友だちと意見を出し合い、考え、共通の目的に向かって配置やコースを整える。
・環境に合わせ、多様な動きを滑らかに行う。

<テーマの設定理由>

(テーマに関する子どもの興味関心、園の特色など)
前回学んだ安全な環境作りをもとに、友だちと話し合いながら自由に環境を作ることが出来るようにするため。

2. 活動スケジュール

挨拶後、自由遊び、動機づけ遊び、課題遊びの順で行う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

(活動のためにどのような環境を設定したか、準備した素材や道具)
巧技台、はしご、滑り台、丸形はしご、バー、マット、ビーム、コーン、ボール、ソファー

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

活動前に子どもたちだけで環境設定を行う。その後、講師と一緒に点検を行い、用具の使い方を学ぶとともに、危険予測を行う。プレイゾーン以外にはコーンとボールを用いたあてゲームを行った。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

(活動の内容、活動中見られた子どもの姿、保育者との関わり等)

活動前に自分たちで環境設定を行う際には、子ども同士で色々な環境を考えながら取り組む姿が見られた。その中で友だちと意見が合わずに泣き出す子どももいたが、周りの友だちが仲立ちを行いながら進めいていた。自分たちで作った環境であっても、動きの流れがない環境設定だった為、途中で飽きてチャレンジゾーンでずっと遊んでいたり、一つの遊具の中で関わりを行ったりする姿が見られた。また、活動前には自分の活動予定、活動後には行ったことを自らの言葉で相手に伝える機会を設けると、言葉にしながらかつて伝えることが出来ていた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

自分たちで環境を作ることによって、環境の作り方だけでなく、巧技台などの道具の扱い方や危険な箇所を理解することが出来ると学んだ。今回は子どもたちの作った環境の動線が繋がっていない事もあり、途中で遊びに飽きていた様子もあったため、そのような時は子どもにさり気なく促しながら環境を変更したり、事前に子どもと一緒に環境を考える際に活動の部分まで一緒に予測したりしても良かったのではないかと感じた。また、活動前後に自分の行う事、行った事を言葉で表現する際には、前々回よりも詳しくしっかりと自分自身の言葉で表現することが出来るようになっていたように感じた。